

## 酒井健夫副会長の世界獣医師会地域評議員の就任と 評議員会（アムステルダム）の開催

### 1 酒井健夫副会長の世界獣医師会アジア・オセアニア 地域評議員の就任

平成 29 年 8 月に開催された第 33 回世界獣医師大会（韓国仁川）とともに開催された世界獣医師会総会において新役員が選任され、アジア・オセアニア地区の評議員は定員 2 名のうち、アフガニスタンの Said Gal Safi が就任した。このため欠員の 1 名の補欠選任が平成 29 年 11 月に行われ、日本獣医師会から酒井健夫副会長が、さらにフィリピンとオーストラリアからそれぞれ 1 名の候補者が立候補し、投票の結果、アジア・オセアニア地区の新評議員に酒井副会長が選任された。

今後は、アジア地域から初めて世界獣医師会会長に選任された台湾のジョンソン・チャン会長とも連携を強化しながら、世界獣医師会の運営にかかわっていくことになっている。

アムステルダムにおける評議員会には酒井副会長が出席された。評議員会の概要は次のとおり。

### 2 平成 29 年 12 月 9～10 日にアムステルダムで WVA 評議員会が開催

平成 29 年 12 月 9～10 日、アムステルダムのノボテル・アムステルダム・シティーで、WVA（世界獣医師会）評議員会が開催され、ジョンソン・チャン会長、パトリシア・ターナー次期会長をはじめ、評議員 12 名が出席し、2017 年 12 月から 2020 年 5 月までの活動・事業計画を検討した。議長にはジョンソン・チャン会長が就任した。

本年 10 月 16 日開催の WVA 評議員会電話会議の議事録が修正後に承認された。次いで事務局より活動報告及び活動計画の検討案が提案された。その中で、世界獣医師大会（WVAC）と One Health 国際会議を毎年開催し、それに伴い理事会を 2 回開催すること、また重要文書は英語、スペイン語、フランス語の 3 言語に翻訳すること、それに必要な財源を確保すること等が提案された。各評議員から財源確保の問題が優先課題であり、慎重に取り組むべきとの意見が多く、さらに検討過程で総会に同時通訳を導入する意見も出されたが、次回の評議員会でさらに検討することになった。

なお、今後の WVAC は、2018 年 5 月にスペイン、2019 年 5 月にコスタリカ、2020 年 5 月にニュージーランドで開催されることが確認された。一方、One

Health 国際会議については、2017 年は開催されず、2018 年も決定されていないため、早急な決定が求められた。

委員会の構成について、財務委員会にラテンアメリカ地区のマリア・ネリ・カヒアオ評議員を、教育委員会にアジア・オセアニア地区の酒井健夫評議員を追加することが提案され、承認された。

WVA-FVE 事務契約は、現在、2014 年 12 月に締結されて 2 期目であり、3 期は 2019 年 12 月に更新するかどうかを決定しなければならない。更新しない場合は 6 カ月の事前通知の必要があり、時間的制約がある。ベルギーのインフレ率に伴って事務局経費が増大し、さらに WVA は事務局長、政策担当者、会計の各 1 名の人件費、旅費、残業代を負担している。解約する場合の検討は早期に着手しなければならない。かつて事務局は、デンマーク獣医師会がコペンハーゲンでその活動を始めたが、デンマーク獣医師会が辞退したため、事務局を公募し、最終的にブリュッセルに決定して、現在に至っている。

WVAC 運営に関する契約については、ICS Vancouver との契約では、収入は参加料、出展料及びスポンサー料である。契約に従い ICS は、WVA に相談の上で各種サービスを提供し、利益損失の 5 割を WVA、残り 5 割を ICS が分担し、WVA は総会開催の 12 カ月前に 83,700 ユーロを ICS に支払っている。1,100～1,200 名の参加があれば、収支差額はゼロであり、契約期限は 2020 年まで有効である。評議員からの意見に対して、事務局の回答は以下のとおりであった。2017 年 8 月に開催された韓国仁川大会の収支については、最終的な数字はまだ不明である。WVA に有利な契約先を探すべきとの意見については、ICS との契約は 3 回の総会だけであり、もう少し長期的にみるべきである。ICS との契約解約については、2019 年の結果をみてその年内に契約更新の是非を検討するのはスケジュール的に厳しい。総会経費について、参加者数の見込みだけでなく、会場使用料等も考える必要がある。

また、財政委員会から年会費の支払いは、ほぼ良好であるとの報告であったが、動物福祉のイベントではスポンサー収入があるものの、2017 年度は 25,178 ユーロの赤字の見込みとの報告があった。予算を超える出費については、その必要性を委員会で審議すべきであり、また、総会運営も別組織が管轄しているが、結局のところリス

クを引き受けるのは財政委員会であり、この仕組みを再検討すべきであるとの提案があった。昨年開催された韓国仁川での総会はイベントとしては非常に成功したが、運営に当たるICSからは十分な情報が報告されていないこと、財政委員会の承認なしに容認できる経費の最大額を3,000ユーロに制限すること等の意見が出された。特にベルギーはVAT（value added tax：付加価値税、日本の消費税に相当）が高いので、ベルギー以外の国の銀行を利用すべきとの質問に対し、事務局から当局からのマネーロンダリングの警戒が厳しく他国の金融機関は利用できない、VAT額を下げる方法や具体的に金融機関を比較検討してはとの質問に対しては、事務局から別のやり方に変えることは可能だが、現在のやり方はFVEとのパッケージ契約であることを念頭においてもらいたいとの回答であり、事務局改革の必要性が強く感じられた。

教育委員会から、生涯教育ポータルサイトのサービス提供について、世界継続教育連盟（WCEA）との契約はWVAにとってマイナス面はないが、利用者も少なく、したがってWVAへの収入もない。利用されているのは無料コースばかりであるとの報告があり、今後、教育委員会で検討することになった。また、同委員会から昨年8月に韓国仁川で開催された第33回世界獣医大会で採択されたOne Health及びEco-Health構想における「WVA仁川宣言」の承認について提案があり、承認された。

人獣共通感染症委員会から、狂犬病対策プログラムの進捗状況が説明され、ガンビアで試行される予定であったが、政治的要因により同国からの援助がなくなり中断したこと、アフガニスタンとモンゴルでの実施可能性は残っているが、国からの支援の見込みは少ないことが報告され、今後検討することになった。

政策委員会から、方針文書に記載し展開するトピックに関する意見を会員から求めること、またWVAは会費で運営されているので、会員が納得できる透明性の高い支払いの根拠が必要であり、会費徴収の構造も再検討しなければならない等の意見があり、次回の評議員会で検討することになった。

WVAC 常任委員会構成の変更について提案があったが、現委員長のランダル氏の任期をバルセロナ総会まで

延長し、テレサ・ベルナンド氏とジャネット・バルツ氏を2020年12月まで委員として追加することが提案され、承認された。

動物福祉委員会から、CEVA賞の申請期限は来年1月末であり、その後に委員会で審議するとの報告があった。利益相反防止のため、理事とWGメンバーとアドホックメンバーは候補者にはなれないことが提案され、承認された。

MSD Animal Health社とWVAは、本年も世界4地域の獣医学生に奨学金プログラム2017を提供することとし、ラテンアメリカは16人、アフリカは10人、北アフリカ・中東は10人、アジア・オセアニアは5人の計41人の選考された獣医学生には2018年半ばまでに、1人当たり5,000USドル（合計205,000USドル）が授与される。申請書は2018年1月1日午後12:00（ブリュッセル時間）までにWVAに提出し、WVA審査委員会で審査することが提案され、承認された。

CSA社の後援によるWVA第2回動物福祉賞2018の申請は、2018年1月31日午後12:00（ブリュッセル時間）であり、受賞者は2018年5月5～8日にスペインのバルセロナで開催される第34回世界獣医師大会で、賞金5,000ユーロを受け取る等が提案され、承認された。

世界獣医師デー賞（WVDA：World Veterinary Day Award）2018について、事務局よりOIEは強力なパートナーだが、干渉も多く、過去に某企業がスポンサーになる件がOIEの反対で立ち消えになったこと、またOIEの支援額は500ユーロであり、実質はマイナスとのこと等が報告された。検討の末、WVD賞はOIEに帰属する等の問題があるので、OIEとの連携体制は当面継続するが、改めて審議することになった。2018年のテーマは議論の末、「持続可能な開発における獣医師の役割」とし、OIEに打診することになり、承認された。なお、これまでのWVDAの統一テーマは、2017年は「抗菌剤の耐性、その認識から行動へ」、2016年は「One Healthに焦点を当てた継続的教育」、2015年は「人獣共通感染症となり得るベクター媒介疾患」、2014年は「動物福祉」であった。

次回の評議員会はテレビ電話会議で2月上旬と4月に開催する予定であること、バルセロナでの総会は2018年5月3～5日に開催することが確認された。